

いこま 市議会のうごき

もっと知ろう、いこまのこれから。

No. 167

令和8年(2026年)

6月定例会

3月 6月 9月 12月



第10回観光フォトコンテスト
特別賞「生駒の街を下に見て」

4月臨時会・6月定例会 議会役員を決定

INDEX

議案審議	P. 2 - 4
一般質問	P. 5 - 8
議決結果	P. 9
正副議長就任あいさつ	P. 10

HPでも詳細をご覧ください。
<https://www.city.ikoma.lg.jp/gikai/>



4月臨時会・6月定例会 議案審議

4月臨時会で

議会役員を決定

**議長に片山誠也議員
副議長に伊木まり子議員**

4月臨時会は、4月28日に開会し、正副議長の選挙（投票）を行い、片山誠也議員が第56代議長に、伊木まり子議員が第56代副議長に当選しました。

監査委員に改正大祐議員

議会選出の監査委員に改正大祐議員を選任することに異議なく同意しました。
また、常任委員会（企画総務、厚生文教、経済建設、予算）、議会運営委員会、広報広聴委員会、災害対策委員会および議会改革特別委員会の委員を選任するとともに、各委員会の委員長および副委員長を決定しました。
新議会役員は、市議会ホームページに掲載しております。

役員構成表は
こちら▼



表彰状が贈られました

全国市議会議長会から、市議会議員としての15年間の功績により、竹内ひろみ議員と吉村善明議員に表彰状が贈られました。



竹内ひろみ議員



吉村善明議員

人事案件に同意しました

○農業委員会委員

辻英雄さん 影林則昭さん
井山茂さん 池谷初英さん
山角ひろ子さん 棚田秀治さん
今井正徳さん 有山富士美さん
西川和宏さん 岡田啓秀さん

○固定資産評価員

鎌田明年経営企画部長

監査委員の選任に

同意しました

里見優さんを新たな監査委員に選任する議案を、企画総務委員会で審査し、委員会と本会議で、異議なく選任に同意しました。
なお、任期は令和8年7月から4年間です。

委員会のおもな質疑

・政治倫理審査会委員との兼務について

賛成 討論の要旨

○政治倫理審査会委員と監査委員の兼任は、互いに市政の監視機関としての役割を持つことから、外観的独立性の確保および自己レビュー脅威回避のため、利益相反などへの懸念に対応する回避措置の早急な検討と適切な制度運用を強く要望する。

討論の様子は
こちら▼



市民のいのちを守る医療基金の 廃止にともなう条例改正を 全会一致で可決しました

「市民のいのちを守る医療基金」の基金残高がなくなることにもなう条例の改正を行うための議案を予算委員会で審査し、委員会と本会議で、異議なく可決しました。



「市民のいのちを守る医療基金」

市立病院の設備や地域医療、地域福祉の充実を目的に、個人から頂いた寄付をもとに平成26年に設置された基金です。

市立病院の開院から現在まで、

- 患者用車いす
- 病院入口のハナミズキ
- プレイルーム内パーティション
- こども用遊具

などに活用されてきました。

行政組織を変更する議案を否決

将来のスマートシティの実現を見据え、市民や事業者などがデータを活用できるようデータ化を推進し、行政と市民、事業者との接点のデジタル化を戦略的に推進していくことを目的に、令和9年4月1日から組織体制を変更する議案を、企画総務委員会で審査しました。

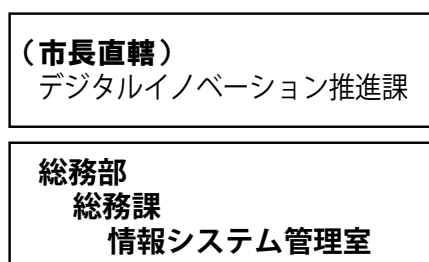
委員会と本会議で、賛成少数で否決することに決定しました。



企画総務委員会
はこちら▼



現在の組織



移管

改正案



新設



反対 討論の要旨

○組織改編は理念先行ではなく、行政運営上の合理性が求められるが、過去の答弁と不整合であること、計画策定から2年での組織改編であること、組織肥大化の懸念および外部人材採用前提の器づくりに見受けられることの4点は看過できない。

○外部人材を含めた公募による新設部の部長職登用は、既存職員の士気などに悪影響を及ぼす懸念がある。

また、デジタル施策推進にあたっては、既存組織内における機能強化などを図ることが効果的な行財政運営の在り方であると考ええる。

○庁内のDX推進ムードが醸成されたとはいえず、時期尚早と考ええる。

また、内部職員を軽視した部長職の公募にも問題があり、現体制の成果と課題を徹底的に分析し、既存組織内での運用など段階を踏んだ検討が必要と考える。

○早急な組織改編の必要性は理解するが、外部人材の採用手続のために遅れることは問題である。

また、内部事情に精通し、踏み込んだコミュニケーションをとれる人材を

部長職に置くべきであり、既存組織内での再編が適当と考える。

○行政DXの取組について、課題や具体的な成果目標と工程を明らかにし、検討した上で組織改編が行われるべきだが、部を新設する必要性や費用対効果、他の組織形態との比較検討の結果などの判断材料が、十分に示されていないと考える。

○AI活用の推進に必要な条例や指針などのリスクアセスメント整備が不十分であること、AI先進自治体を目指すなどの意欲的な目標がないこと、目的達成の手段として、既存組織内での再編が適切と考えることから、部の新設は不要である。

○部の新設による組織体制の複雑化や庁舎スペースの不足などの課題をふまえた慎重な判断が求められる。

また、組織の拡大を優先するのではなく、会議や業務を見直し残業を削減するなどの働き続けられる環境整備を優先すべきと考える。

討論の様子は
こちら▼



一般会計補正予算を全会一致で可決

一般会計補正予算（第1回）

6月定例会では、歳入・歳出にそれぞれ4587万円を追加する補正予算案が提案されました。

内容は、高齢者インフルエンザ予防接種事業において、本年秋から追加される、従来比4倍の抗原量を含む高用量ワクチン接種に係る必要経費の増額です。

なお、財源は、接種者の自己負担金や繰越金が活用されます。

一般会計補正予算（第2回）

債務負担行為を追加する補正予算案が追加提案されました。

内容は、上中学校の長寿命化改修において、国からの交付金内定の遅れなどの影響を受け、事業スケジュールを見直したことから、関係する債務負担行為を追加するものです。

※債務負担行為・・・複数年度にまたがる事業などを行う場合に、あらかじめ将来の債務を約束すること。

変更前	変更後
令和7年度 北館（Ⅰ期）	北館（Ⅰ期） 中館（Ⅱ期）
令和8年度 中館（Ⅱ期）	北館（Ⅰ期） 中館（Ⅱ期）
令和9年度 南館（Ⅲ期）	南館（Ⅲ期）
令和10年度	

	標準量ワクチン	高用量ワクチン
定期接種対象者	○ 65 歳以上 または ○ 60 ～ 64 歳で 法令に定める者	○ 75 歳以上 （選択制）
接種方法	皮下注射	筋肉注射
接種間隔	毎年度 1 回	毎年度 1 回
自己負担金	1,600円	3,000円

意見書を国に提出しました

●国連憲章及び国際人道法の遵守と

平和的解決を求める意見書

意見書概要（要約）

国に対し、世界の恒久平和の実現にむけ、すべての紛争当事者に対し、軍事行動の永続的な停止と平和的・外交的手段による解決および国際人道法を守り、戦争に住民を巻き込まないよう働きかけることを求める。



意見書全文は
こちら▼



●女性差別撤廃条約選択議定書の

速やかな批准を求める意見書

意見書概要（要約）

国に対し、すべての人が、個人の尊厳を尊重され、性差別を受けることなく、個性や能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現するため、女性差別撤廃条約選択議定書を速やかに批准するよう求める。



意見書全文は
こちら▼



＼ここが知りたい！／

本会議の一般質問

6月
2日～4日
定例会

掲載以外の質問内容もありますので、

ホームページや後日発行の会議録をご覧ください。

二次元コードを読み取っていただくと、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

質問者数 14 人

とは、現時点では考えられない。

答 現状として市民から墓地などが足りていないとの声は届いておらず、市内および隣接地に存在する墓地で充足していると考えていることから、市として平和公園を整備していくことは、現時点では考えられない。

問 平和の尊さを伝え、追悼や慰霊の場となる公園を平和公園ととらえ、その一角に合祀墓を配置し、本市を巣立っていった子どもたちが帰省した時、故人をしのび、ふるさとを想う場として、市が平和公園を整備することに、市の考えは。

答 法令上、一定の手続きにより墓園を整備することは可能であるが、事業規模や配置、地域住民との合意形成など、クリアしなければならぬ条件があることから、整備にあたっては高いハードルがあると考えている。

問 都市公園法の特設公園として墓園を整備することは可能か。

答 法令上、一定の手続きにより墓園を整備することは可能であるが、事業規模や配置、地域住民との合意形成など、クリアしなければならぬ条件があることから、整備にあたっては高いハードルがあると考えている。



伊木まり子議員（無党派）

今後効果的な活用を検討していきたい。

答 現時点において、生成AIの活用による業務削減について、具体的な数値目標は設定していないが、業務の効率化、職員の負担軽減、市民サービスの向上につなげていくことは非常に有効であると考えており、今後も効果的な活用を検討していきたい。

問 AIの活用による効率化で業務時間の削減を想定しているのであれば、10年後を見据え、今から採用人数の調整を行うため定員適正化計画を見直すべきではないか。

答 AIの進化による影響を見通すことは難しいが、可能な限り予測しながら人材育成方針を作りたい。

問 AI活用による効率化で業務時間の削減を想定しているのであれば、10年後を見据え、今から採用人数の調整を行うため定員適正化計画を見直すべきではないか。

答 AIの進化による影響を見通すことは難しいが、可能な限り予測しながら人材育成方針を作りたい。



神山さとし議員（新風）

実施していきたい。

答 追加指定箇所該当自治会に説明会で案内するとともに、市のホームページで分かりやすく記載しているが、新着情報などによる広報ができていないため、今後はしっかりと実施していきたい。

問 土砂災害警戒区域の指定が急速に増加しているが、市民へ適切に周知されているのか。

答 また、5月29日から防災気象情報の伝達方法が変わったが、どのように取り組む考えか。

問 国は防災時、在宅避難など避難所以外にいる被災者への確実な支援を促しているが、本市の認識は。

答 また、在宅避難者に対する「物資配布」「見守り」などをどのように行う考えか。



成田智樹議員（生駒市議会公明党）



竜田川への土砂流出

開発区域からの土砂流出への対応は

塩見牧子議員（新風）



問 市は、壱分北開発区域から竜田川への土砂流出を把握後、文書による是正命令などを行ったのか。

答 文書の発出はしていないが、事業者に対し口頭で指導を行った。

問 工事完了後、市に移管される排水設備について、防災計画図どおりに施工されているか確認したか。

答 当該設備は工事中の仮設で、必ずしも市に移管されるものではない。

また、市は防災計画図とその施工の適否について判断する立場にないが、県と共に現地確認を行い、事業者にも土砂などの流出防止措置を行うよう指導を行っている。

問 開発許可申請に先立つ県からの指摘事項に対し、事業者が「了解しました。」とのみ回答していたことについて、市は問題視しなかったのか。

答 本回答は県に対する回答であり、本市に対し協議などを求めるものではない。しかしながら、本市内における開発事業であることから、本市の開発指導要綱に基づく事業者との事前協議の中で指摘事項を含め指導をしている。

他の項目

●石油製品供給不安などが市民生活、地域経済に及ぼす影響と対応は

インクルーシブ教育について

高杉千代子議員（新風）



問 市の教育、とりわけインクルーシブ教育の推進について目指す姿は。

答 インクルーシブ教育とは、一部の子どもたちのための特別な仕組みではなく、すべての子どもたちにとってより良い教育をつくる営みであると考えている。そのために、自分自身はここにいていいんだと安心して過ごせる居場所づくりと主体的に学ぶ力を育む学校教育を、ハード、ソフト両面で全市的に展開するとともに、学校、保護者、地域が共に子どもたちの育ちを支える体制づくり、地域と共有する学校づくりを推進していきたい。

問 インクルーシブ教育のモデル校として、生駒南義務教育学校を教育委員会としてどのように考えているのか。

答 生駒南義務教育学校は、市のインクルーシブ教育のモデル校としての役割を担うものと位置付けている。具体的には、本校での実践、知見を教職員研修や研究などを通して市内全校で共有する、既存校の改修、整備にこの設計思想や考え方を段階的に反映させる、市教育委員会の施策や予算を通じて市のインクルーシブ教育の底上げを図るなど、市全体への展開を進めていきたい。

市民の読書推進のための施策について

竹内ひろみ議員（日本共産党）



問 近年、全国的に読書離れが進んでおり、本市においても、図書館の貸出冊数が減少している中、次世代を担う子どもや保護者を対象とした事業で参加者が減っている理由は。

答 各事業によって理由は様々あるが、サービス自体が停滞しているわけではなく、実施方法の変更や子ども数の減少が原因であると考えている。

問 小・中学校の子どもたちの読書推進のために、どのような取組をしているのか。

答 学校図書による図書室の環境整備や読み聞かせ、朝読書や教師による本の紹介など、様々な取組を行うとともに、中学校ではビブリオバトルを導入し、市内中学生大会を開催している。このほか、図書館からの団体貸出しや電子図書館の使い方などをテーマに出前授業も行っている。

問 奈良市では、「図書受取ロッカー」を駅に設置し、大きな成果を上げている。本市でも設置してはどうか。

答 図書受取ロッカーの有用性については理解するものの、費用面で課題が残る。

また、本市には、利便性の高い駅前図書室があることから、まずは利用促進をしていきたい。



自治会の持続可能な運営にむけた支援について

梶井憲子議員（緑生）

問 のぼり旗などの防犯用品は自治会ごとに購入するよりも市が一括購入した方が経費削減につながると考えるが、市の見解は。

答 必要な資機材は自治会ごとの活動形態に応じて種類や数量が異なるため、すべての自治会に共通する仕様を設定することは難しく、自治会の自主性や柔軟な運営を尊重する観点からも市が一律に一括調達することとは趣旨にそぐわないと考える。

問 広報紙の配布を自治会経由から事業者による全戸配布に切り替える自治体が増えている中、全戸配布しない理由は何か。

答 自治会配布以外の方法の場合、概算で年間約2000万円の配送費用がかかるとともに、広報紙の配布を通じて自治会内の顔の見える関係づくりができる点もあることから、自治会の方々の声を丁寧聞きながら進める必要があると考えている。

問 物価高騰の影響により自治会活動の維持継続が困難になりつつあるが、補助制度の拡充は検討できるか。

答 物価高騰など社会情勢の推移を注視しながら、県内他市の状況もふまえ、自治会の持続可能な取組をサポートできるように取り組みたい。



改正民法施行後の本市の対応と「こどもの利益」を守る支援体制について

山下一哉議員（生駒市議会公明党）

問 共同親権による学校の混乱や訴訟リスクから教職員と子を守るため、国の通知を待たず他市を参考に市独自の「学校対応ガイドライン」を早急に策定すべきではないか。

答 学校対応ガイドラインの必要性は承知しているが、時間をかけしっかりと国の方針なども注視した上で策定したいと考える。

問 窓口につながらない潜在層を救い、こども計画の「大人の意識変容」を促すため、時間や場所を問わず匿名で参加できるオンライン親支援講座を実施すべきではないか。

答 奈良県ではひとり親コンシェルジュによる生活支援など、個々の事情に合わせた相談体制が整えられていることから、そちらに丁寧につなぐことが重要だと考える。

問 共同親権による情報の分断や子のSOS見落としを防ぐため、縦割りを排し「こども家庭センター」を情報のハブ（司令塔）として包括的に支援すべきではないか。

答 市独自で専門員を配置するのは容易でないことから、国や県の専門の相談窓口につなぐとともに、庁内での情報共有や連携を深めていきたい。



人材育成基本方針の改定にむけて

改正大祐議員（絆）

問 地方公務員法第39条に基づき研修の基本方針・目標・計画の指針を明確に位置付ける考えは。

答 現在検討中であるが、人材育成基本方針の策定にあたり、どの時点でどのような知識や能力を習得すべきか考慮しながら、研修の基本方針について一定程度は定めていきたいと考えている。

問 過去の答弁で人事異動方針やキャリアプランの明文化を検討することであったが、どうなったか。

答 人材育成基本方針を作成する中で、重要なことは目指す方針として文章化していくとともに、人材育成において職員にキャリアデザインを示すことは大変重要であると認識しており、目指すべき職員像についても一定程度文章化していくべきであると考えている。

問 改定にむけて専門人材をどのように育成し組織として活用するのか。

答 専門人材の育成は、現場での経験や知識習得が主となり、現有職員では得難い専門的知見や経験に基づく助言などを得て、組織的な方向性を決定していくことが現時点の主な活用方法である。こうした現状をふまえ、人材育成基本方針の改定に取り組んでいく考えである。



家族介護者の孤立防止と支援について

福中眞美議員（新風）

問 高齢化の進展により、家族が介護を担うケースが増える一方で、介護者自身が孤立し、心身共に大きな負担を抱えている状況も見られる。

また、支援制度があっても、必要な人が制度につながりにくいという課題もある。本市の家族介護者を取り巻く現状と課題は。

答 在宅での介護が必要な高齢者が増加し、支える家族の在り方や抱える負担も大きく変化している。在宅介護が長期化、日常化する中、支える家族が身体的負担や精神的な不安を一人で抱え込む実態もあり、実態が表面化しにくい点が課題である。

問 家族介護者への支援策および支援策の周知の状況は。

答 地域包括支援センターにおいて相談対応や権利擁護の業務を行うとともに、支援が必要な家族を訪問する活動を行っている。介護に関する入門的研修、家族介護教室なども実施し、広報紙や市の窓口、社会福祉協議会などで周知を行っている。

問 参加しやすい交流の場や気軽に立ち寄れる居場所づくりの取組は。

答 認知症カフェ、いきいき百歳体操、地域サロンなど各地域での身近な居場所づくりを更に一歩進めたい。



少子高齢化を鑑みた都市公園の柔軟な活用について

芦谷員治議員（日本維新の会）

問 現在、「PARK REMAKE QUEST」にどのような課題定義をし、今後取り組んでいくのか。

答 公園の日常的な利用が少ないことから、市民や事業者が主体的に取り組む公園の活用促進のため、今年度に公園でできることや、許可申請手続などをまとめたパンフレットを配布するとともに、市のホームページでも公開周知している。今後も更なる施策の展開を検討していく。

問 現状、市管理のすべての公園で、どのようなルールや禁止事項のもとで使用されているか把握しているか。

答 すべての公園において、把握できていないため、現地確認を進める。

問 公園でのボール遊びについて、他市のように時間制などのローカルルールを設けてはどうか。

答 引き続き他市事例を情報収集し、本市に最適なルールを検討していく。

問 公園の整備に事業者から得られる収益を充当できる「Park PFI」を活用する考えはないのか。

答 現在、指定管理者制度を導入して運営管理を行っている公園について再整備に係る検討業務を実施しており、その中で「Park PFI」についても検討していく。



脾臓がんの早期発見の推進について

恵比須幹大議員（生駒市議会公明党）

問 市のホームページ内では、「脾臓がんQ&A」として情報発信されているが、より強く意識付けする方法を改めて検討してはどうか。

答 脾臓がんは検診や検査が確立されておらず、必要に応じて適切な検査を受けることが早期発見につながると思われる。市のホームページで、日本脾臓学会のガイドラインにある脾臓がん発生のリスクを高める因子を紹介し、該当する場合は医師に相談するよう啓発するなど記載内容の更なる充実を検討していきたい。

問 毎年、11月の第3木曜日は「世界脾がんデー」が設定されている。そのタイミングに合わせて啓発していくのも一つの方法と思うが。

答 そういったタイミングを活用するなど、各地の取組も参考にしながら情報発信に取り組んでいきたい。

問 各地での「脾がん早期診断（早期発見）プロジェクト」の取組についてどのような見解を持つのか。

答 奈良県でも検討を始めることから、今後の動向を注視していきたい。

他の項目

●高齢者の肺炎球菌予防接種について



生駒市幼稚園再編に係る基本方針について

浜田佳資議員（日本共産党）

問 市が幼稚園の再編を必要とする根拠は何か。

答 少子化などで園児が減少する中、子どもたちの集団性や協同性といった育ちを最優先に考え、適切な集団規模を確保して就学前教育および保育サービスを提供するためである。

問 基本方針は確定ではなく、地域の住宅開発の影響などから変更はあり得るか。

答 基本方針は確定したものであるが、周辺の開発などにより園児数が推計より大きく増減する見込みの場合は、変更する必要があると考えている。

問 今年度と来年度においては何をを行うことを想定しているか。

答 また、市民からの説明会開催の要望や意見などへの対応は、真摯に行うか。

問 今年度は（仮称）壱分こども園開園に向けた協定の締結などを行い、来年度はなばた幼稚園での私立園分園整備の諸手続きを想定している。また、説明会開催の要望などは、しっかりと対応していく。

他の項目

●生駒駅周辺都市再生の取組について



酷暑から子どもの命を守る環境整備について

辰巳綾子議員（日本維新の会）

問 熱中症予防対応マニュアルの改定に伴い追記された手のひらや足裏冷却を学校ではどのように行うのか。

答 常時、学校では氷や保冷剤を用意しているため、そちらを活用して冷却してもらう。

問 クーリングシェルター対象施設の場所など、登下校中の児童・生徒の利用方法や保護者への周知についてどのように考えているのか。

答 クーリングシェルター対象施設の場所、開設期間、利用可能な時間帯、利用時の注意点などを確認して学校を通じて児童・生徒や保護者が安心して利用できるような周知方法を検討する。

問 今年度の熱中症対策について、いつの時期にどのようなことを確認し次年度以降のマニュアル、周知内容、運用ルール改善につなげるのか。

答 現在、WBG T測定機器を活用し活動判断基準として運用している。特に夏季期間中の屋内外活動における活動判断などを、秋頃に学校ごとの課題や改善点と共に取りまとめ、次年度以降のマニュアルの補足やWBG T測定機器の運用方法、また周知方法も含めて整理し、より実効性のある熱中症対策につなげる。

令和8年4月臨時会・6月定例会の議決結果

賛否が分かれた議案名	議決結果	共産党		公明党		維新	絆					緑生		新風				無					
		浜田 佳資	竹内ひろみ	恵比須幹夫	成田智樹	山下一哉	芦谷真治	辰巳綾子	白本和久	吉村善明	片山誠也	改正大祐	森雄亮	橋本宏淳	中尾節子	中嶋宏明	梶井憲子	塩見牧子	福中眞美	神山さとし	加藤裕美	高杉千代子	伊木まり子
生駒市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	否決	●	●	○	○	○	●	●	●	○	—	●	○	○	●	○	○	●	●	●	●	○	○

◎議長(片山誠也)は、議決に加わらないため、「—」と表示しています。

◎会派名:共産党(日本共産党)、公明党(生駒市議会公明党)、維新(日本維新の会)、
無(無会派)

○=賛成 ●=反対

全会一致で原案可決・承認・同意・了承とした議案

- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
- ・令和7年度生駒市一般会計繰越明許費繰越計算書
- ・令和7年度生駒市下水道事業会計予算繰越計算書
- ・令和7年度生駒市病院事業会計継続費繰越計算書
- ・専決処分につき承認を求めることについて
(生駒市税条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて
(生駒市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて
(生駒市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・生駒市監査委員の選任について
- ・令和8年度生駒市一般会計補正予算(第1回)
- ・生駒市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・篤志寄附基金条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・訴訟上の和解について
- ・市道路線の認定について
- ・生駒市監査委員の選任について
- ・生駒市農業委員会委員の任命について
- ・固定資産評価員の選任について
- ・財産の取得について
- ・令和8年度生駒市一般会計補正予算(第2回)
- ・生駒市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
- ・財産の取得について
- ・生駒市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
- ・国連憲章及び国際人道法の遵守と平和的解決を求める意見書(案)
- ・女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書(案)

就任あいさつ



伊木まり子 副議長

片山誠也 議長

私たちは、去る4月28日の臨時会にて議長と副議長に就任しました。昨年度に引き続き要職を務めさせていただくこととなります。

議長は、議会の代表として会議の議事を進行し、また、様々な式典や審議会などに出席します。議長として、昨年度は多くの市民の方々と触れ合う機会をいただきましたが、今年度も多くの現場に足を運んでまいります。

副議長は、議長が不在の時などに議長に代わってその職務を行います。また、議長を補佐し、円滑な議会運営に取り組んでまいります。

いよいよ私たちの議員任期も今年度が最終年度となります。議員一同任期を全うしてまいりますので、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

9月定例会の予定

これからの会議の日程は、市議会ホームページでご確認ください。



これからの会議▼

議会の傍聴に

お越しください

市議会では、本会議や各委員会などを、どなたでも傍聴できます。

議会を身近に感じていただく機会として、ぜひお越しください。

マチイロのご案内



「いこま市議会のうごき」をスマートフォンなどで手軽にご覧いただけるアプリ「マチイロ」をぜひご利用ください。

インストールはこちら▼



議場ロビーで

絵画を展示しています

市議会では、開かれた議会の取組の一環として、市役所5階の議場ロビーをギャラリーとして開放し、市洋画協会および市日本画協会のご協力により、両会員の絵画を展示しております。

みなさま、どうぞお気軽にお立ち寄りください。



表紙写真を

募集しています



「いこま市議会のうごき」では、市民のみなさまが撮影した写真を表紙に掲載しています。

風景や行事、人物、暮らしのひとコマなど、みなさまが見つけた「生駒の魅力」を表紙にしませんか。写真は、随時受付しているので、ぜひご応募ください。

詳細・ご応募はこちら▼



編集後記

6月26日、生駒山では1時間に76・5ミリと観測史上1位の猛烈な雨が降り、市内各所では床下、床上浸水、がけ崩れなどの被害が相次ぎました。被害に遭われたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、議員任期も残り1年となり、任期最後の広報広聴委員が4月の臨時会で選任されました。前年度、引継いだ「議会報の見直し」について委員会で協議を重ねてきました。

前号からは挿絵を入れたり、紙面の余白や視線の流れを意識したレイアウトに変更したりと、工夫を加えています。お気づきいただけましたでしょうか。

議会報は報告書ではなく、議会に関心・興味を持つってもらう入口となるツールです。発行ごとに「前より読みやすくなった」「なんだかいつもと違う」と感じていただけることが、改善の成果だと思います。

今後に限られた紙面の中で、必要な情報を分かりやすく、そして興味を持っていただける形でお届けできるよう、委員一同で工夫を続けてまいります。